

令和元年度 第1回 福岡市総合図書館運営審議会 議事録

- 1 日 時：令和元年9月27日（金）10：00～11：30
- 2 場 所：福岡市総合図書館 3階 第2会議室
- 3 出席者：委 員）高橋昇，萩尾憲子，青沼美撫子，上村篤子，桐研次郎，国広奈穂子，
白根恵子，西村早苗，濱地保季，脇川郁也，渡邊由紀子
（計11名）
職 員）松本館長，内藤事業管理部長，若山運営課長，宮川図書サービス課長，
小森文学・文書課長，八尋映像資料課長 他
傍聴人）4名

4 議事録

1. 開 会

館長挨拶／職員紹介

2. 議 事

議事 平成30年度事業報告について

委 員	東図書館の開館日数が他の図書館に比べて多いのは指定管理者が運営しているからか。
事務局	東図書館は，平成28年度から指定管理者が運営している。休館日は月に一度の最終月曜日のみであり他の図書館に比べ開館日数が多い。
委 員	入館者数について，博多図書館，博多南図書館が他の分館と開館日数は変わらないのに利用者数が少ないのは何故か。
事務局	立地条件が関係しているのではないか。地域交流センターは，市民が利用する区役所等から離れているところに設置されており，その中にある和白図書館，博多南図書館は集客が少ない傾向にある。また，博多図書館など鉄道駅から離れている図書館も同様の傾向である。
委 員	有料宅配サービスについて，申込みの手順を教えてください。
事務局	郵送での貸出サービスとしては，近くの図書館になかなか行くことのできない利用者に対し，送料を負担していただく有料宅配サービスがある。利用者には制限はなく，申込方法などは，問い合わせがあった際に詳しく説明している。また，障がい者に対しては図書館が送料を負担するサービスがある。
委 員	大学図書館とのネットワークについて，平成29年度に利用が減り平成30年度に回復しているのは九大図書館の移転のため一時期相互貸借を休止していたことによるものか。
事務局	その要素もある。また，大学との相互貸借では，学生や研究者が，研究目的で図書や雑誌を多く借り出す場合があり，そういったことも要因となる。
委 員	返却ポストが東区に少ないが，今後，設置の予定はあるか。
事務局	今後の課題と考えている。南区の場合も，返却ポストがなかったため，長い期間かけて設置場所を探し，九州がんセンターに設置したところだが，場所が市の施設か民間の施設かにより異なってくるが，いずれにしても返却された本の運搬が大きな問題となっている。数年にわたって返却ポストを増やしてきたが，物流ルートは以前から2系統で運行しており予約本の分館間での移動が増えて物流量が増大してきたこと

	<p>もあって限界の状態にあり，返却拠点を増やすにはルート組換えか予算を確保した上でのルート増が必要である。東区に返却拠点が少ないのは認識しているので検討していく。</p>
委員	<p>団体貸出について，登録団体数が増えているのに貸出冊数が減っているのは，物流関係と記憶しているが，登録団体が直接借りに来れば貸出冊数は増えるのではないか。</p>
事務局	<p>物流が団体数に追い付かなくなったので，昨年度に貸出期間を3か月から4か月に変更させていただいた団体がある。団体貸出の図書館での受取は現在も行っており，病院や高齢者施設等では職員の方が選本と同時に貸出された本を持ち帰ることも多い。</p>
委員	<p>個人貸出冊数を増やすための考えはあるか。</p>
事務局	<p>個人貸出冊数と貸出利用者数が減少しているのは課題として認識している。図書館に来館を促すため季節ごとにイベントを行い，イベントに関連した図書を紹介するなど図書と結びつけて貸出を薦めている。平成28年度より行っているが減少傾向なので今後も取り組んでいく。</p>
委員	<p>身近な場所に図書館がなくバスに乗ってまで行こうと思わない。公民館を分室のように活用すると身近になるのではないか。</p>
事務局	<p>団体貸出の登録がある公民館は半数程度だが，公民館での読書活動を増やしていこうと市民局や教育委員会の生涯学習課も同じ思いである。公民館等で読書活動を行っている団体と読書活動ボランティアをやりたい人，今後，取り組んでいきたい公民館を集めた交流会を生涯学習課と合同で開催しており，毎年数館で団体が立ち上がっているが，更に加速させるための検討を行っていく。</p>
委員	<p>公民館は，ミニ図書館を作っているが，団体が図書を置いてある部屋を使っていると図書を利用できない。また，公民館は月に一度連絡会があるので，団体貸出の制度についてアナウンスしていただきたい。校区ごとに公民館があるのは全国的に珍しく公民館を分館のように活用していただくと嬉しい。貸出カードを作る時に手続きをする場所に迷ったので，簡単で利用しやすい方法を考えていただきたい。</p>
委員	<p>早良南地域交流センターに図書館ができるが，東区のような学習室はできるのか。</p>
事務局	<p>東図書館が入っているなみきスクエアは，1階に図書館，2階にフリースペースの学習席が配置されている。また，図書館内では持ち込み学習ではなく図書館の資料を利用した調査・研究を行えるようになっている。早良南地域交流センターについても同様に，市民局が学習スペースを設ける予定である。</p>
委員	<p>学習する場ができることを期待している。子ども達が学習できる場所が少ない。図面では学習スペースが狭いように思うので，広くしてほしい。</p>
事務局	<p>整備を所管する市民局に意見を伝える。</p>
委員	<p>旧東図書館は狭くて本を読む場所がなかったが，なみきスクエアに移転して，子どもも大人も座って読むことが出来るようになった。なみきスクエアまで行けない人も公民館で本を読める環境があればありがたい。</p>
委員	<p>総合図書館の学習室でパソコンは使えるか。</p>
事務局	<p>学習室では，音の出る作業は遠慮していただいております。2階にパソコンルームを配置</p>

委員	<p>している。学習室でも音が出ないスマートフォンやタブレット等は持ち込みを認めている。</p> <p>大人はキーボードを使うので音が出るのがだめなら学習室は使えない。また、教育関係の専門書は古く、インターネットを利用するしかない状況だが、最新の本はどのくらい入れているのか。武雄市の図書館は民間の業者が入っており、常に最新の本があるので利用しやすい。民間の業者と連携して最新の本が入るようなビジョンはないのか。</p>
事務局	<p>2階にパソコン使用可能エリアがあり、資料を使つての調べものができる。資料の購入については、昨年度は、寄贈も含めて約4万点の収集を行った。専門書については、限られた予算の中で、貸出の少ない専門書と貸出の多い一般の本との購入のバランスをどうとるかが課題である。</p>
委員	<p>資料収集の充実の中で収集方針を策定したとあるが、今までなかったのを新たに策定したのか。</p>
事務局	<p>総合図書館の収集方針の改定を行うとともに、各分館で地域の特性などを盛り込んだ収集を行うことができるよう見直しを行った。</p>
委員	<p>防災避難訓練の対象者は、市民も入っているのか。</p>
事務局	<p>総合図書館に勤務する職員のみである。</p>

- 報告事項
- ・平成30年度福岡市総合図書館の運営に関する評価について
(福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議の報告)
 - ・福岡市総合図書館新ビジョン前期事業計画実施報告

その他

委員	<p>見学について、受け入れのガイドラインはあるのか。公民館への団体貸出は、3か月か4か月の期間となっているが、選本もその都度行うことになる。もっと長期での貸出はできないか。</p>
事務局	<p>見学の受け入れは、開館中に行っているが、多人数は難しいが図書館の利用を進めるためにも相談があれば受け入れている。</p> <p>団体貸出は3か月間ないし4か月間を基本としているが、最大で6か月間の貸出が可能である。</p>

3. 閉会

事業管理部長挨拶／事務連絡